

平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 岡本硝子株式会社

上場取引所 東

コード番号 7746 URL <http://www.ogc-jp.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 毅

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレートサービス部長 (氏名) 阿部 裕

TEL 04-7137-3111

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	4,399	15.4	158	89.1	88	113.0	72	94.3
29年3月期第3四半期	3,813	6.4	83		41		37	

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 99百万円 (51.3%) 29年3月期第3四半期 65百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	3.73	3.73
29年3月期第3四半期	1.98	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	7,138	1,905	26.7
29年3月期	6,627	1,410	21.3

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 1,903百万円 29年3月期 1,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,856	9.6	168	13.8	53	19.9	36	16.9	1.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	21,183,840 株	29年3月期	19,326,440 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	710 株	29年3月期	709 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	19,511,471 株	29年3月期3Q	18,949,831 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、雇用増加を背景とした個人消費により景気の拡大を続け、ヨーロッパ地域では、ドイツなどで景気が回復しており、中国では、各種政策効果などにより景気は持ち直しをみせております。日本経済は、雇用・所得環境が改善するなかで、堅調な個人消費と公共投資により、景気は緩やかな回復基調を続けております。

プロジェクターの需要は、おおむね横ばいで推移しておりますが、プロジェクターメーカーと製品開発段階から協業に取り組むことなどにより、顧客内シェアを高めることで当社グループの反射鏡及びフライアイレンズの販売は増加しました。

平成29年11月に反射鏡を生産する新潟岡本硝子株式会社のガラス溶融炉1基とフライアイレンズを生産する本社工場(千葉県柏市)のガラス溶融炉1基の定期炉修が完了し、仕掛品在庫の水準も順調に回復いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高4,399百万円(前第3四半期連結累計期間比15.4%増)、経常利益88百万円(前第3四半期連結累計期間比113.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益72百万円(前第3四半期連結累計期間比94.3%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①光学事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は2,923百万円と前年同期と比べ270百万円(10.2%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は544百万円と前年と比べ79百万円(17.0%)の増益となりました。

プロジェクター用反射鏡は、販売数量が前年同期比で13.6%増加し、売上高は6.2%増加いたしました。フライアイレンズは、販売数量が前年同期比で18.6%増加し、売上高は16.5%増加いたしました。

②照明事業

当第3四半期連結累計期間の売上高は584百万円と前年同期と比べ139百万円(31.3%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は21百万円と前年と比べ64百万円(74.8%)の減益となりました。一般照明の売上高は減少しましたが、カーナビ用等特殊カバーガラスの売上高は増加いたしました。

③その他

当第3四半期連結累計期間の売上高は890百万円と前年同期と比べ176百万円(24.7%)の増収となり、セグメント損失(営業損失)は55百万円と前年と比べ58百万円(前第3四半期連結累計期間のセグメント損失は113百万円)の増益となりました。フリット(ガラス粉末)と銀ミラー(Hi-Silver®)の売上高が増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べて511百万円増加し、7,138百万円となりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ333百万円の増加となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が225百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ177百万円の増加となりました。この主な要因は、有形固定資産が157百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ511百万円の増加となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ157百万円の増加となりました。この主な要因は、短期借入金が106百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ141百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金が450百万円減少した一方で、リース債務が286百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は15百万円の増加となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ495百万円の増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が72百万円増加し、第9回新株予約権(行使価額修正条項付)が行使されたことにより、資本金が196百万円増加、資本剰余金が196

百万円増加ことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

営業利益、経常利益ともに当第3四半期連結累計期間までは当初の想定を上回る推移となっておりますが、為替動向の先行き不透明感が急速に強まっていることや冷凍機のフロン規制への対応の前倒し、新規事業関係の測定機の購入など先行投資も検討しており償却費負担増加もありうるため、通期の連結業績予想につきましては、現時点においては前回予想値(平成29年5月15日公表)を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	569,437	571,222
受取手形及び売掛金	1,035,294	1,260,820
商品及び製品	627,999	472,391
仕掛品	384,692	508,066
原材料及び貯蔵品	64,988	73,475
その他	56,994	186,867
貸倒引当金	△16	-
流動資産合計	2,739,392	3,072,843
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,217,301	1,158,008
機械装置及び運搬具(純額)	722,555	1,172,186
土地	703,014	703,014
リース資産(純額)	42,742	340,041
建設仮勘定	676,581	156,501
その他(純額)	71,559	61,934
有形固定資産合計	3,433,755	3,591,686
無形固定資産	13,696	9,690
投資その他の資産		
投資有価証券	336,405	340,821
その他	104,146	123,457
投資その他の資産合計	440,551	464,279
固定資産合計	3,888,003	4,065,656
資産合計	6,627,395	7,138,500
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	519,976	514,119
短期借入金	224,000	330,000
1年内返済予定の長期借入金	626,961	598,601
リース債務	42,496	72,797
未払法人税等	18,253	12,299
賞与引当金	41,529	20,685
未払金	222,243	217,061
その他	124,764	212,133
流動負債合計	1,820,224	1,977,698
固定負債		
長期借入金	3,115,726	2,665,440
リース債務	6,874	293,660
繰延税金負債	24,147	33,902
退職給付に係る負債	192,284	202,941
資産除去債務	43,453	45,323
その他	14,635	14,186
固定負債合計	3,397,122	3,255,455
負債合計	5,217,347	5,233,153
純資産の部		
株主資本		

資本金	2,095,307	2,292,076
資本剰余金	333,902	530,671
利益剰余金	△1,121,199	△1,048,378
自己株式	△421	△421
株主資本合計	1,307,589	1,773,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,935	64,985
為替換算調整勘定	34,965	42,183
退職給付に係る調整累計額	24,558	22,268
その他の包括利益累計額合計	102,459	129,436
新株予約権	-	1,962
純資産合計	1,410,048	1,905,346
負債純資産合計	6,627,395	7,138,500

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	3,813,106	4,399,096
売上原価	2,770,804	3,253,574
売上総利益	1,042,302	1,145,522
販売費及び一般管理費		
役員報酬	56,334	67,642
給料及び手当	275,218	268,508
賞与	11,376	17,482
退職給付費用	13,913	9,321
減価償却費	29,703	30,329
賞与引当金繰入額	7,218	5,579
旅費及び交通費	32,222	36,236
支払手数料	52,579	68,491
運賃	58,612	70,827
研究開発費	163,291	141,185
その他	258,173	271,699
販売費及び一般管理費合計	958,644	987,304
営業利益	83,657	158,217
営業外収益		
受取利息	205	72
受取配当金	3,388	5,066
助成金収入	48,931	1,291
業務受託料	15,732	12,201
その他	5,280	13,911
営業外収益合計	73,538	32,542
営業外費用		
支払利息	47,138	42,301
為替差損	7,327	1,533
シンジケートローン手数料	13,802	16,884
持分法による投資損失	41,595	32,974
その他	5,680	8,329
営業外費用合計	115,544	102,023
経常利益	41,651	88,736
特別利益		
固定資産売却益	231	414
固定資産圧縮額戻入益	9,483	-
持分変動利益	52,701	-
特別利益合計	62,416	414
特別損失		
固定資産除却損	0	5,118
固定資産売却損	-	2,192
補助金返還損	17,669	-
希望退職関連費用	43,413	-
特別損失合計	61,083	7,311
税金等調整前四半期純利益	42,984	81,839
法人税、住民税及び事業税	5,419	8,928
法人税等調整額	86	90
法人税等合計	5,506	9,019

四半期純利益	37,478	72,820
親会社株主に帰属する四半期純利益	37,478	72,820

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	37,478	72,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,758	22,049
繰延ヘッジ損益	△2,094	-
為替換算調整勘定	1,428	7,217
退職給付に係る調整額	12,379	△2,290
その他の包括利益合計	28,471	26,977
四半期包括利益	65,950	99,797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,950	99,797

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、行使価額修正条項付第9回新株予約権の一部行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ196,769千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,292,076千円、資本剰余金が530,671千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,653,273	445,255	3,098,528	714,578	3,813,106
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,653,273	445,255	3,098,528	714,578	3,813,106
セグメント利益又は損失(△)	465,636	85,898	551,534	△113,640	437,894

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、フリット、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	551,534
「その他」の区分の損失(△)	△113,640
全社費用(注)	△354,236
四半期連結損益計算書の営業利益	83,657

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,923,607	584,644	3,508,252	890,844	4,399,096
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,923,607	584,644	3,508,252	890,844	4,399,096
セグメント利益又は損失(△)	544,713	21,645	566,359	△55,424	510,934

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラス、フリット、紫外線照射装置に使われるエキシマランプの蒸着加工などを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	566,359
「その他」の区分の損失(△)	△55,424
全社費用(注)	△352,717
四半期連結損益計算書の営業利益	158,217

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

新株予約権の権利行使による新株発行

平成30年1月1日から平成30年2月9日までの間に、行使価額修正条項付第9回新株予約権の一部について権利行使に基づく新株発行をいたしました。当該新株予約権の権利行使の概要は、以下のとおりであります。

発行された株式の種類及び株式数 普通株式 1,531,200株

発行総額 304,795千円

発行総額のうち資本金へ組み入れた額 152,397千円

これにより、平成30年2月9日現在、発行済株式総数(普通株式)は22,715,040株となり、資本金は2,444,474千円、資本準備金は683,069千円となっております。